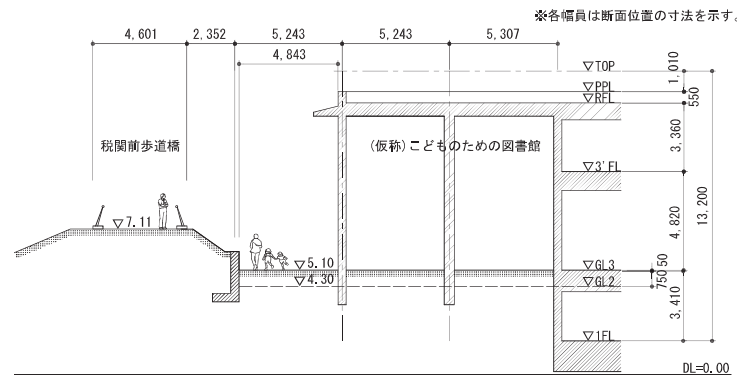


部分平面図 S=1/300



A-A断面図 S=1/250

### 南ブロックの課題及び計画の方向性

#### 課題① 空間の分断

- ・既存の公園区域中央にこどものための図書館と東橋に歩道橋が設置されることで、公園空間が分断され、残る公園空間も狭くなっている。
- ・既存レストハウスとこどものための図書館との間が、三方を建物に囲まれた15m四方ほどの閉鎖的な空間となり、各建物のエントランスとするには、位置付けを明確にした魅力づけが必要である。

#### 課題② 円滑な歩行者動線の確保

##### <計画諸施設間の狭さ>

- ・こどものための図書館と管理事務所・トイレとの間(幅約1.5m)、こどものための図書館と歩道橋との間(テラス除き約4.8m)など、公園園路としては幅が狭い取り合いになっており、北ブロックから花時計側や南ブロック南西側への回遊が困難な動線となっている。

##### <敷地高低差>

- ・現在も花時計の広場部と既設パーゴラ以北との間に1m程度の高低差があり、歩道橋新設により既存スロープがなくなることから、園内で高敷地差を解消する必要がある。
- ・現配置計画でスロープの設置が可能なのは、こどものための図書館と歩道橋との間のみであるが、非常に幅・奥行が限られ、スロープと建物・歩道橋の高低差を処理する構造物が必要となる。

##### <既存施設からの移動経路>

- ・南ブロックは地下道の出入口から離れており(東遊園地北端 C8 階段から約250m、エレベーターがある市役所2号館前 C4 出入口から約350m)、ベビーカー利用者等の利用促進を図るため、この間の移動経路のバリアフリー、樹木による日陰・雨よけなどの充実、地下駐車場からのエレベーターの新設などの検討が必要である。
- ・北側の道路(蒼合南58号線)は路上駐車が多く見通しが悪いため、子どもの安全のために何らかの対策が必要である。

#### 課題③ こどものための図書館と公園の一体利用

- ・既存の南ブロックは、噴水を中心とする舗装の広場として整備されており、高木の足元には低木が面的に植栽されており、「緑の中・緑の下で読書する」といった使い方には適していない状況である。
- ・交通量が多い国道2号線とフラワーロードの交差点に面していて騒音が大きく、花時計の広場を「読書、憩い」などに適した空間とするための工夫が必要である。

#### 計画検討の方向性(案)

- ・こどものための図書館、歩道橋の施設形状、設置位置等の調整を図る。
- ・レストハウスの撤去も含めた北ブロックとの公園空間の一体化、子ども図書館の前庭空間の創出など、公園空間の分断を無くす施設配置を検討する。
- ・社会実験でのアウトドアイブラリー概念など活かす等、どのように図書館と公園の一体的利用を図るか図書館の運営方法を含めた検討を行う。